

barouche
for metropolitan migrator

coffee maker
コーヒーメーカー
BR-01

www.barouche.net

取扱説明書(保証書付)

安全上のご注意	03～05
各部のなまえとはたらき	06～07
各部の扱い方	08～09
コーヒーのいれ方	10～13
ワンポイントアドバイス	14
お手入れの仕方	15
故障かな?と思ったら	16
仕様	17
アフターサービス	17
ご相談窓口	18
コーヒーマーカー保証書	19

このたびは barouche コーヒーマーカーをお買い求めいただきまして、誠に有り難うございます。
ご使用前に必ず本書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。また、ご使用中にわからないことやトラ
ブルが生じた時のために、お読みになった後は大切に保管してください。

安全上のご注意

安全のための表示について

ここに示した注意事項は、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するための、
安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。
その表示の意味は、次のようになっています。
この表示を無視して、誤った使い方をしたときに生じる内容を、2つに区分しています。

 警告 人が死亡または重傷を負う可能性が 想定される内容。	 注意 人が障害を負う可能性および物的損 害のみの発生が想定される内容。	この商品を使用できるのは日本国内のみで、 国外では使用できません。 This appliance is designed for domestic use in Japan only and cannot be used in any other country.
---	--	--

本文中の絵表示の意味です。

⊘ は、してはいけない 「禁止」の内容です。	 禁止	 分解禁止	 ぬれ手禁止	 水ぬれ禁止	 接触禁止
● は、必ず実行していただく 「強制」の内容です。	 必ず行う	 さし込みプラグを抜く			

警告

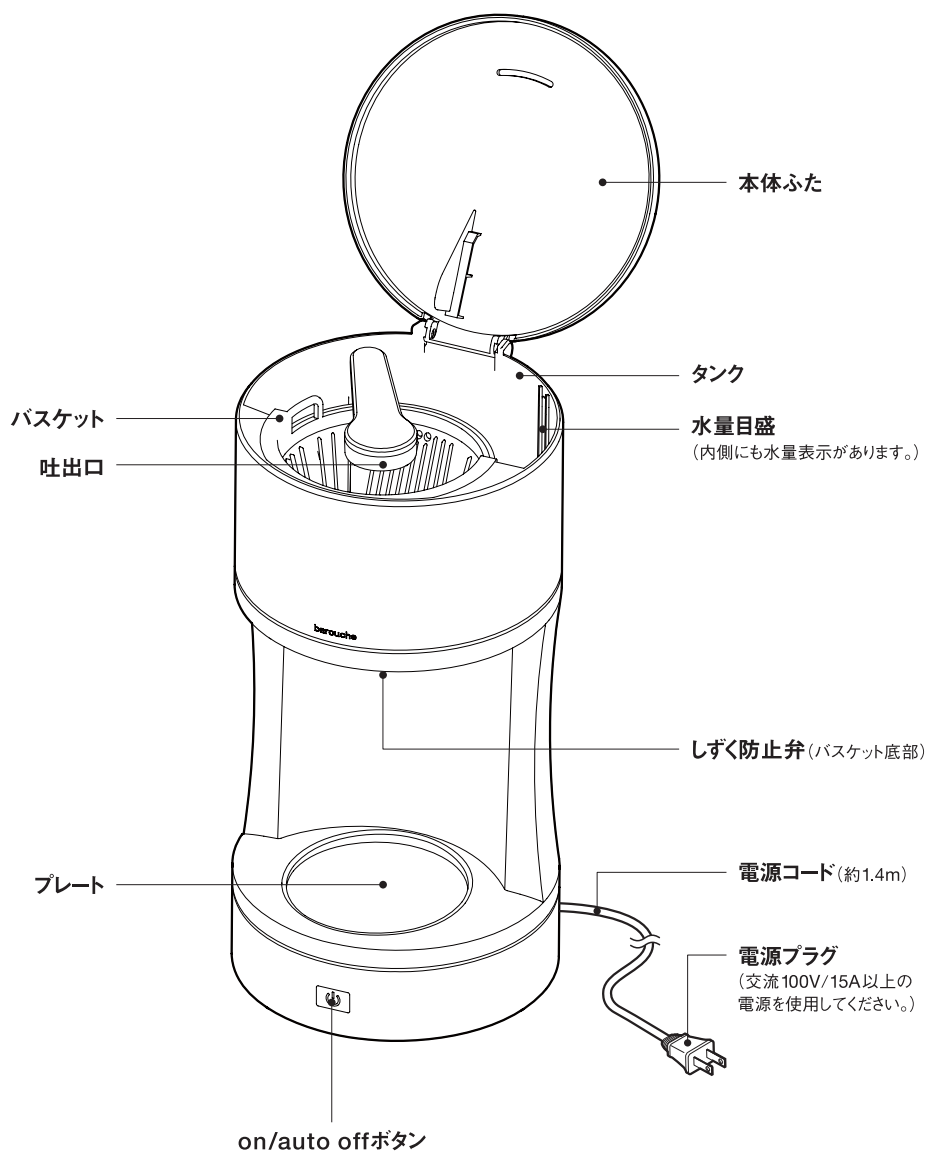
-  **分解禁止**
改造はしない。また修理技術者以外の人は、分解したり修理を行わない
火災・感電・けがの原因になります。修理はお買い上げの販売店または、修理ご相談窓口にご相談ください。
-  **水ぬれ禁止**
水につけたり、水をかけたりしない
ショート感電の原因になります。
-  **禁止**
タンブラーなしで使わない
やけどをすることがあります。
-  **使用禁止**
コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない
感電・ショート・発火の原因になります。
-  **接触禁止**
蒸気が出る所に触ったり、顔などを近づけない
やけどをすることがあります。特に乳幼児には触らせないよう、ご注意ください。
-  **無理な扱い禁止**
コードを傷つけたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、高温部に近づけたり、重い物をのせたり、挟み込んだり、加工したりしない
火災・感電の原因になります。
-  **禁止**
子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わない
やけど・けが・感電の原因になります。
-  **ぬれ手禁止**
ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない
けがや感電をすることがあります。
-  **コンセントを単独で使う**
定格15A以上のコンセントを単独で使う
他の器具と併用して使用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。
-  **奥まで差し込む**
電源プラグはコンセントの奥までしっかり差し込む
感電・ショート・発煙・発火の原因になります。
-  **交流100Vのコンセントを使う**
電源は交流100V専用コンセントを使用する
火災・感電の原因になります。

注意

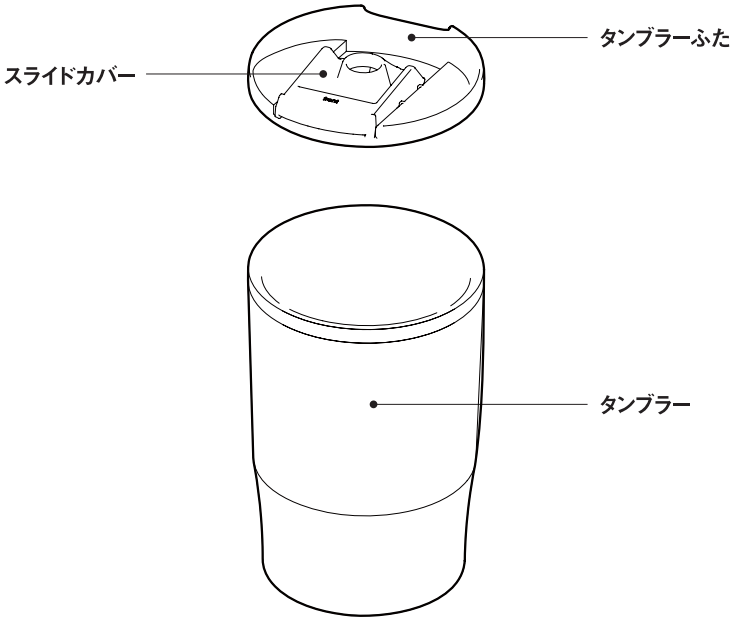
-  **禁止**
不安定な場所や熱に弱い敷物の上では使用しない
やけど・火災の原因になります。
-  **禁止**
壁や家具の近くで使わない
蒸気または熱で壁や家具を傷め、変色・変形の原因になります。
-  **禁止**
抽出中にタンブラーを外さない
やけどの原因になります。
-  **禁止**
抽出直後、すぐにタンクに水を入れない
ヒーターが熱くなっているため、湯口から熱湯・蒸気が出てやけどの原因になります。
-  **禁止**
タンブラーをのせたまま、本体を動かさない
やけどやけがの原因になります。
-  **プラグを抜く**
使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜く
やけどやけが・絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。
-  **プラグを持って抜く**
電源プラグを抜くときは、コードを持たずに先端の電源プラグを持って引き抜く
感電やショートして発火することがあります。
-  **接触禁止**
使用中や使用後しばらくはバスケットなどに触れない
やけどの原因になります。
-  **冷えてから行う**
お手入れは冷えてから行う
高温部に触れ、やけどの原因になります。
-  **強制**
本体ふたを開けるときは、十分冷えてから本体ふたを開ける
蒸気や熱湯が噴き出し、やけどの原因になります。

- お願い
- 続けてコーヒーを作る場合はランプが消えている状態で、約5分以上待つ……本体が熱いうちに給水したり、動かしたりすると吐出口から蒸気や熱湯が出る恐れがあり、やけどの原因となります。
 - 空だきをしない……タンクに水が入っていない時は、通電させないでください。故障の原因となります。
 - タンクに湯・コーヒー・紅茶・牛乳・酒など、水以外のものを入れない……故障の原因となります。
 - 本体ふたの上面に物を載せない。また、使用中にふきんなどをかぶせない……故障の原因となります。
 - ドリップ中はタンブラーをはずさない……ドリップ中にバスケットからコーヒーがあふれます。
 - タンブラーの内部に水が入った状態で使用しない……ドリップ中にタンブラー上部からコーヒーがあふれることがあります。
 - 使用中や使用直後は、本体ふたを開けない。また、しずく防止弁に手を触れない……やけどをすることがあります。

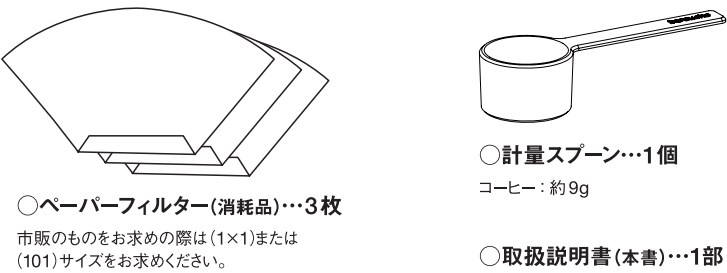
各部のなまえ



※本体に保温機能はついておりません。



付属品



各部の扱い方

[バスケットの着脱について]

バスケットのはずしかた

- ① 本体ふたを開ける。
- ② 吐出口を右に回転させる。
- ③ バスケットつまみを持って、上に持ち上げる。

バスケットの取り付けかた

取り付ける時は、はずしかたと逆の手順で取り付け、バスケット底の突起部を本体に『カチッ』と音がするまで差し込みます。

[on/auto off ボタンについて]

ボタンは『入』専用です

- ドリップが終わると自動的に電源が切れます。(オートオフ)
- 続けてボタンを押さないでください。故障の原因となります。
- ドリップ終了後、タンクに水が入っていない状態でボタンを3秒以上押し続けると、ヒーターが異常加熱され、温度ヒューズが溶断することがあります。
- 途中で使用を中止する時は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

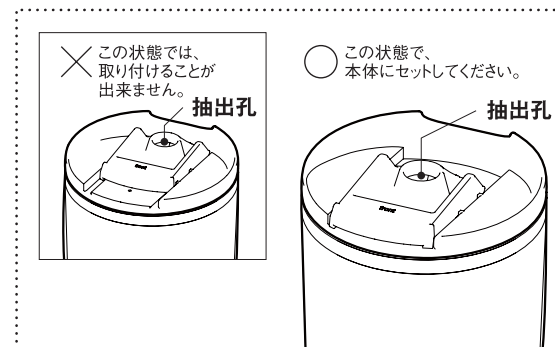


[タンブラーの着脱について]

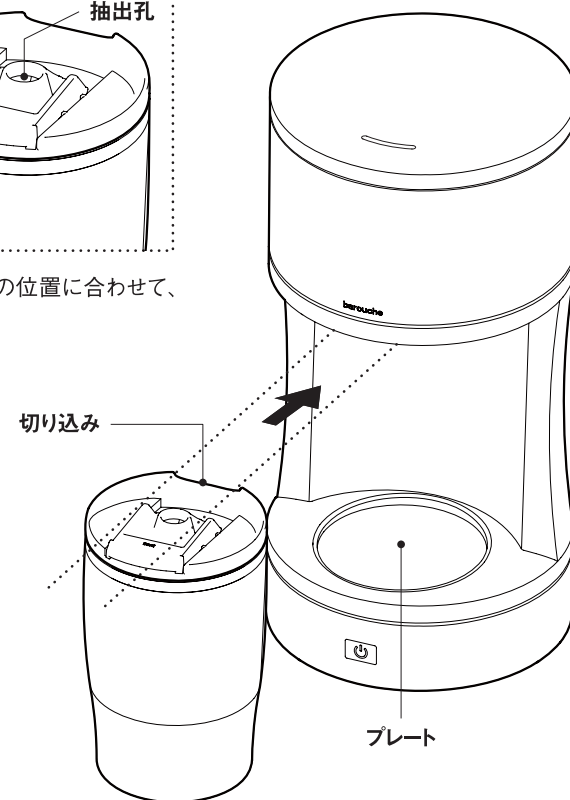
タンブラーの取り付けかた

スライドカバーの抽出孔をタンブラーふたの中央に合わせます。

※スライドカバーが手前の位置にあると、本体へはセットできません。

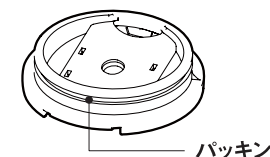


本体突起部とタンブラーふたの切り込みの位置に合わせて、タンブラーをプレートの上に置きます。



タンブラーの取扱いについて

- 直火にかけたり、電子レンジで使わない。
- 落としたり、硬いものをぶついたりしない。
- みがき粉、研磨剤入りのスポンジ、金属たわしなどは表面を傷つけるので使用しない。
- つけ置き洗いはしない。2重構造内部に水が入ることがあります。
- 食器洗い機は使わない。
- 洗浄の際は、ふたのパッキンを外して洗浄ください。
- ふたの取り外しを繰り返すと、ふたのパッキンがよじれるので、よじれを直してご使用ください。
- 沸騰している飲み物を入れないでください。
- ふたは閉じても完全に密封されません。中身を入れたままカバンやバッグに入れて持ち運ばないでください。



コーヒーのいれ方

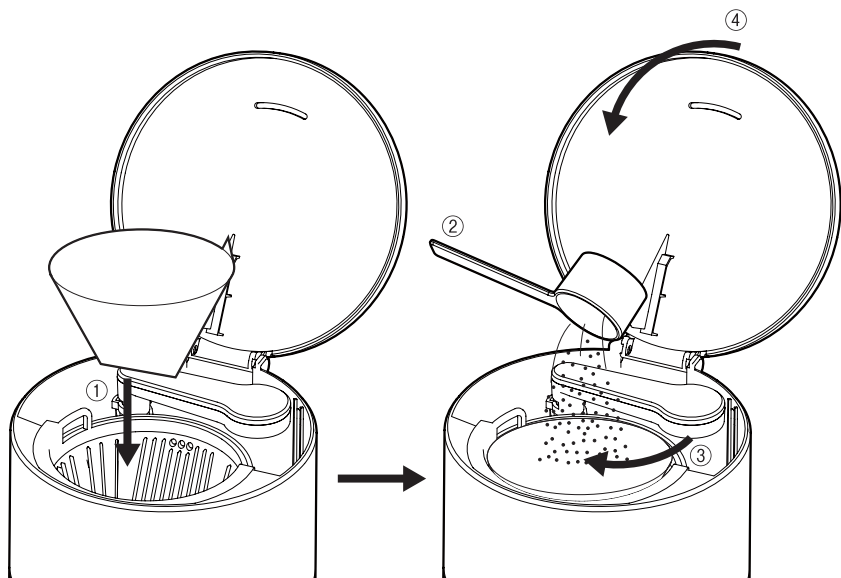
[初めてご使用になるときは]

初めてご使用になるときや長期間保管されていた場合は、次のように洗浄してください。

- ①タンブラー、タンブラーふた、バスケットを洗って取り付ける。
- ②水位目盛のmaxまで水を入れる。
- ③電源プラグをコンセントにさし込み、on/auto off ボタンを押して湯だけを抽出する。

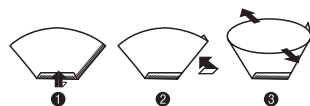
1 バスケットにペーパーフィルターを取り付け、コーヒー粉を入れる

- ①バスケットにペーパーフィルター(101サイズ)を入れ、軽く押さえます。
- ②付属の計量スプーンでコーヒー粉(計量スプーンすりきり2杯)を量ってペーパーフィルター内に均一に入れます。
- ③吐出口をバスケット中央に移動します。
- ④本体ふたを閉めます。



ペーパーフィルターの折りかた

ペーパーフィルターのミシン目を折り曲げ、しっかり広げて取り付けます。



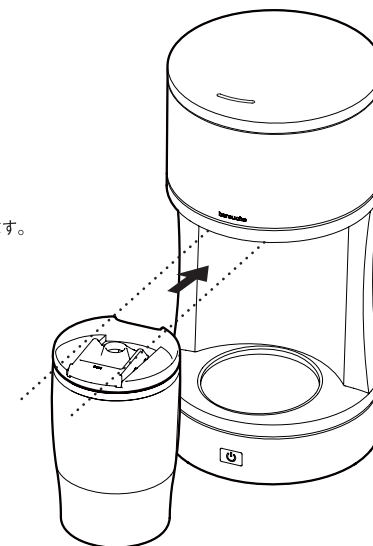
[コーヒー粉を使うときは]

- ペーパーフィルター用(中びき粉)をご使用ください。
細びき粉を使用しますとペーパーフィルターが目づまりし、バスケットから湯があふれることがあります。
- 計量スプーン2杯以上入れないでください。
ドリップの際にコーヒー粉があふれて、タンブラーに入ることがあります。

2 タンブラーをプレートの上に取り付ける

タンブラーふたのスライドカバーが中央にあることを確認してから、タンブラーをプレートの上に確実に取り付けてください。
(詳しくはP09をご参照ください。)

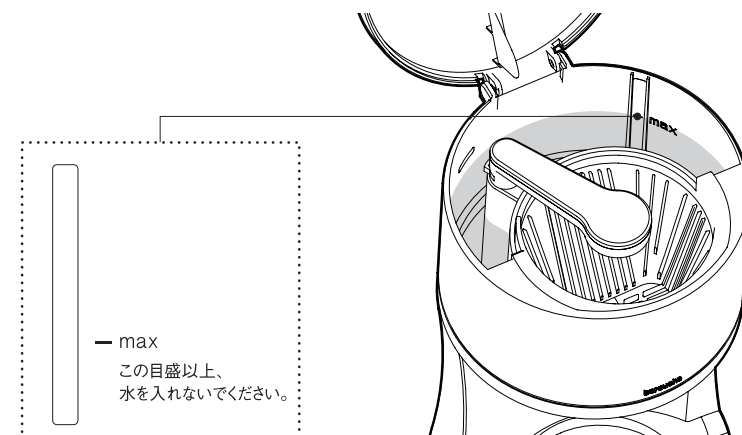
- タンブラーの内部に水が入っていないことと、タンブラーふたのパッキンが取り付けられていることを確認してから開めてください。
- タンブラーとタンブラーふたがしっかり閉まっていることを確認してください。
浮き上がっていると、本体にセットできないことがあります。
※タンブラーふたを取り付けていないと、コーヒーがバスケットからあふれ出ます。



3 タンクに水を入れる

- ①本体ふたを開けます。
- ②タンク内側の水位目盛に合わせて、こぼれないようにタンクに水を注ぎます。
水位はmaxの目盛より多く入れないでください。
- ③本体ふたを閉めます。

- 水位目盛のmaxをこえる水を入れないでください。タンブラーからコーヒーがあふれ、テーブルや敷物を汚すことがあります。
- お湯や熱湯入れないでください。タンクが変形することがあります。
- ドリップ中に水を追加しないでください。



コーヒーのいれ方

4 電源プラグをさし込み、on/auto off ボタンを押す

- on/auto off ボタンを押すと、「カチッ」と音がしてランプが点灯し、ドリッブを始めます。

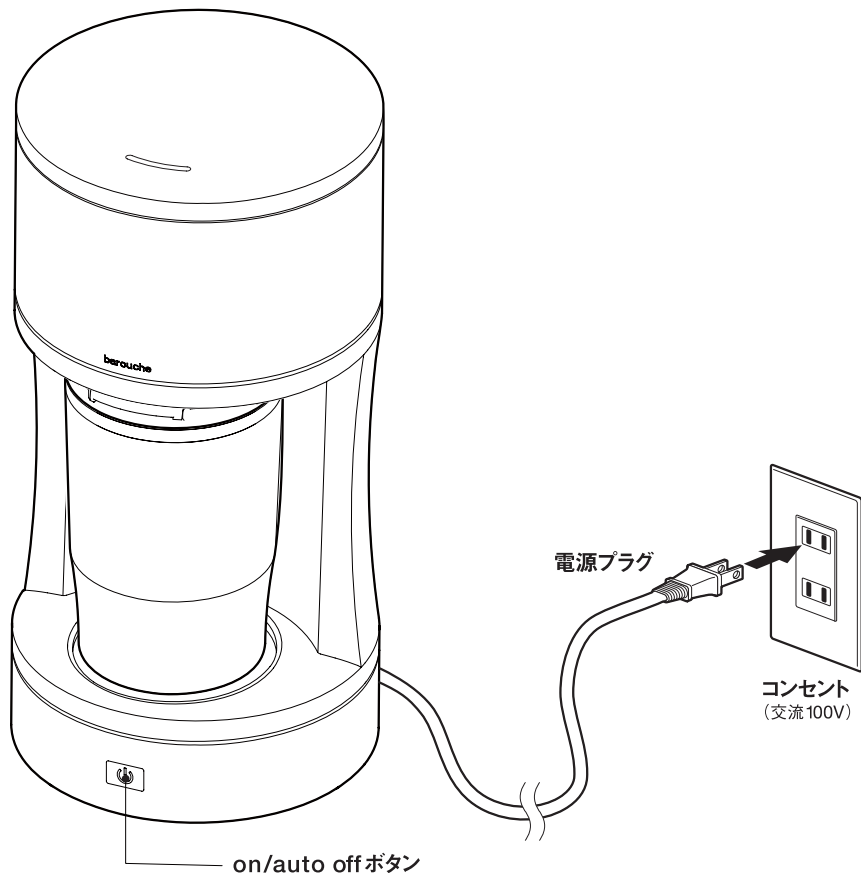


注意

通電中はふたを開けないでください

蒸気が噴出し、やけどやけがをする恐れがあります。

- ドリッブ中に水を追加しないでください。
- 標準のでき上がり量は、約270mlです。コーヒー粉の種類や量、粗さによって、でき上がり量は変わります。
- 続けて on/auto off ボタンを押さないでください。故障の原因となります。



5 タンブラーをプレートの上から取り出す

- ①ドリッブが終了すると自動的に on/auto off ボタンのランプが消え、電源が切れます。
- ②お湯、蒸気が完全に止まってから、約2～3分待つて、タンブラーを本体から取り外します。(電源が切れても、コーヒーが滴下します)
- ③タンブラーからタンブラーふたを外してお飲みください。タンブラーふたからコーヒーや蒸気のしずくが垂れることがありますので、ご注意ください。
- ④使用後は電源プラグをコンセントから抜いてください。

- 本体から取り外した後、すぐにお飲みにならない場合は、タンブラーふたのスライドカバーを手前にずらして注ぎ口を閉めてください。
- 本体には保温機能はありませんので、放置するとコーヒーは冷めます。
- 続けて使用する場合は、本体が冷めるまで5分以上お待ちください。
- 本体が熱いうちに水を入れたり、動かすと蒸気が噴出して危険です。やけどのおそれがありますのでおやめください。
- でき上がり時間の目安は約4分半です。でき上がり時間は水温、室温、電圧でかわることがあります。
- 抽出終了直後は、カップのふち(ステンレス部分)が熱くなっています。お召し上がり際にはご注意ください。



途中で使用を中止する場合は

- ①電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ②抽出が完全に終わってからタンブラーを引き出してください。
- ③タンクに残った水は本体が冷めてから捨ててください。

ご使用後は

電源プラグをコンセントから抜いてください。

続けてコーヒーを作るときは

- ①ランプが消えている状態で約5分以上待ちます。
- ②「コーヒーのいれ方」(P10参照)を繰り返してください。



注意

本体が高温になっていますので、やけどなどに十分注意してください。

本体が熱いうちに給水したり動かしたりすると吐出口から蒸気や熱湯が出る恐れがあり、やけどの原因となります。

ワンポイントアドバイス

コーヒー豆はお好みに合わせて

種類	酸味	甘味	苦味	中性
モカ	●	●		
コロンビア	●	●		
キリマンジャロ	●			
ガテマラ	●	●		
ブラジル				●
ブルーマウンテン		●		
ジャワ			●	
ハワイ・コナ	●			

風味を損なわないために

長時間保温するとコーヒーは酸味が出てくるので、飲み切れる量だけ作るようにしましょう。

コーヒー粉は新しいものを使いましょう

開封後はできるだけ早くお使いください。

保存方法

《コーヒー粉》密封容器に入れ冷蔵庫で保存してください。
※付属の計量スプーンは冷蔵庫及び冷凍庫へは入れないでください。

お手入れの仕方

〔お手入れをするときは〕

- 必ず電源プラグを抜き、本体が冷めてから早めに行ってください。
- 食器用中性洗剤とスポンジ・やわらかい布などをお使いください。ベンジン、シンナー、みがき粉、たわしなどは表面を傷つけますので絶対に使わないでください。
- 食器用乾燥機、食器洗い乾燥機に入れて乾燥させないでください。部品の変形の原因となります。
- 熱湯を使ったり、熱湯の中に入れてしないでください。部品の変形の原因となります。

〔水洗いできないもの〕

本体

食器用中性洗剤を入れた水にふきんを浸し固くしぼったものでふき、さらに乾いた布でふき取ります。



警告



水ぬれ禁止

水につけたり、水をかけたりしない
ショート感電の原因になります。

〔水洗いできるもの〕

タンブラー、タンブラーふた

やわらかいスポンジできれいに洗い、水でよくすすぎます。みがき粉、研磨剤入りのスポンジ、金属たわしなどは表面を傷つけますので使わないでください。つけ置き洗いはしないでください。タンブラーの2重構造内部に水が入ることがあります。

バスケット

やわらかいスポンジできれいに洗い、水でよくすすぎます。

お湯の出方が悪くなったときは

水質によっては本体内の水管に湯アカが付着し、湯の出方が悪くなることがあります。

下記の方法で、お手入れをしてください。

- ①本体にバスケットを取り付け、タンブラーをプレートにのせます。
※タンブラーの内部に水が入っていないことを確認してください。
- ②水と食酢をよく混ぜて溶液を作り、タンクに注ぎます。(比率：水140ml：食酢25ml)
- ③on/auto off ボタンを押して抽出します。抽出終了後、5分待つタンクをすすぎます。
- ④水だけを水位目盛のmaxまでいれ、抽出します。これを2回以上繰り返します。
※食酢のにおいがなくなるまで繰り返すのが目安です。

故障かな? と思ったら

症状	ここをお確かめください
コーヒーが抽出されない	○電源プラグが抜けていませんか? →コンセントにさし込んでください。 ○on/auto off ボタンを押しましたか? →on/auto off ボタンを押し、ランプが点灯しているかを確認してください。
コーヒーがあふれる	○ペーパーフィルターが浮いたり、折れ曲がったりしていませんか? →確実に取り付けてください。 ○タンブラーがセットされていますか? →タンブラーをセットしてください。 ○水位目盛のmaxを超える水を入れていませんか? →max以上入れないでください。 ○計量スプーンすりきり2杯を越えるコーヒー粉をいれていませんか? →すりきり2杯以上のコーヒー粉を入れしないでください。 ○コーヒー粉が細かすぎませんか? →細びき粉は使用しないでください。 ○バスケットが奥まできっちりとセットされていますか? →確実に取り付けてください。
抽出液に油が浮いている	○コーヒー豆の中に含まれている油脂分が抽出中に溶け出したものです。 →害はありません。バスケット、タンブラーなどの各部品をよく洗い、乾燥させてご使用ください。
お湯の出方が悪い	○本体内の水管に湯アカが付着しています。 →P15の「お湯の出方が悪くなったときには」に従って、湯アカを取り除いてください。

以上のことをお確かめになり、それでも調子が悪い時はただちに使用を中止し、お買上げの販売店またはリアル・フリート修理ご相談窓口にご連絡ください。

仕様

型番	BR-01
電源	交流 100V 50-60Hz 共用
定格消費電力	500W
外形寸法(幅×高さ×奥行き)	135×140×270mm(コード部突起含まず)
最大水容量	300ml
付属品	計量スプーン(1個)、ペーパーフィルター(3枚)
コード長	約1.4m
質量	約1.1kg(タンブラー含む)
温度ヒューズ	240℃

※仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。

アフターサービス

1 保証書の内容のご確認と保存のお願い

必ず「販売店印およびお買い上げ日」をご確認のうえ、お買い上げの販売店から受け取り、内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

2 保証期間は、お買い上げ日より1年間

3 修理をお申しつけされるとき

《保証期間中》製品に保証書を添えて、お買い上げの販売店にご持参ください。保証書の記載内容に基づき修理いたします。
《保証期間を経過しているとき》修理すれば使用できる商品は、ご要望により有料修理いたします。

4 補修用性能部品※の保有期間は、製造打ち切り後5年間です。

※性能部品とは、その製品の機能を維持する為に必要な部品です。

5 修理料金の仕組み

修理料金は、技術料、部品代、出張料などで構成されています。技術料 は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。出張料 は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。(本機の場合、持ち込み修理となります)

2 上記の内容についての詳細、贈答、転居の場合など、その他、製品に関するお問い合わせ、ご質問がございましたら、お買い上げの販売店または、弊社のご相談窓口までお気軽にご相談ください。

お客様ご自身での修理、分解や改造は絶対にしないでください。

ご相談窓口

[修理に関するご相談]
(株)リアル・フリース 修理ご相談窓口

ナビダイヤル 全国共通番号 0570-077-773

受付時間 10:00～19:00 月～金 (土・日祝祭日は休み)
■ファクシミリでのお問い合わせ Fax 0570-022-227

製品の「品番・お問い合わせ内容」と、お客様の「お名前・ご住所・電話番号・FAX 番号」をご記入のうえ、お問い合わせください。

[使いかた・お買い物などのご相談]
(株)リアル・フリース お客様サポートセンター

フリーダイヤル 0120-161914

受付時間 10:00～19:00 月～金 (土・日祝祭日は休み)
■携帯電話・PHSの方はこちらへ Tel 03-5774-0947
■ファクシミリでのお問い合わせ Fax 03-5467-0431

製品の「品番・お問い合わせ内容」と、お客様の「お名前・ご住所・電話番号・FAX 番号」をご記入のうえ、お問い合わせください。

保証書

取扱説明書、本体表示などの注意書きに従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理致します。製品と本書をご持参のうえ、お買い上げの販売店にお申し付けください。製品のある場所での出張修理や製品郵送の場合は、出張料や輸送料などの実費を申し受けます。

型名		BR-01	
お客様	お名前	TEL	
	ご住所		
お買い上げ日		年 月 日	保証書 お買い上げ日より 本体1年
販売店名・住所			

- 1.ご転居、ご贈答などで、お買い上げの販売店にお申しつけ出来ない場合は、弊社のお客様サポートセンターにお申しつけください。
- 2.保証期間内でも次の場合には有料修理になります。

(1)使用上の誤り、および改造や不当な修理による故障および損傷。

(2)お買い上げ後の輸送・移動・落下などによる故障および損傷。

(3)火災、地震、水害、落雷その他の天災地変、および公害、塩害ガス害(硫化ガスなど)、異常電圧、指定外の使用電流(電圧、周波数)などによる故障および損傷。

(4)飲食店などでの業務使用による故障および損傷。

(5)車、船舶、列車への搭載。

(6)調理以外でのご使用による故障および損傷。(実験室などでの調理以外でのご使用、部品の煮沸など)

(7)本書のご提示がない場合。

(8)本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合あるいは字句を書きかえられた場合。

(9)消耗部品の交換。
- 3.本書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.
- 4.本書は盗難・火災などの不可抗力以外で紛失された場合は、再発行いたしませんので大切に保存してください。

株式会社リアル・フリース
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 6-27-8 TEL.03-5774-0947